

楽しみながら切磋琢磨。群馬御庭会は熱かった！

9年前に発足して以来、2か月に一度会合を開き、ユニークな講師を招いての講演会や、三協アルミ本社工場見学、花博の見学旅行など、精力的な活動を続けている「群馬御庭会」。12月8日(水)に前橋東急インで開かれた総会に、EX.VIEW編集部が潜入！充実と親睦のひとときを徹底取材しました。

総会…次期会長は大島様に

総会は午後3時にスタート。平成15年度の事業報告・決算報告、三役選出、16年度の活動計画案などを話し合いました。新会長には(株)オオシマ・大島和則様、副会長には陽光産業(株)・田中泰雄様、庭工房ishikawa・石川幹男様、会計には(株)グンテック・小島良之様が選ばれました。尚、従来会長を務められた(株)名正の加藤様は名誉会長に就任されました。「こういう会は会員の皆様の出席がないと成り立っていきません。三協アルミの担当の方々とよく相談しながら、皆様が喜んでいただける企画を立てていきたいと思っておりますので、ぜひ1年間よろしくお願ひします」と大島新会長より挨拶され、満場の拍手で迎えられました。



三協アルミの次期新製品は？

続いて、三協アルミ本社の北崎課長より、最近の市場動向と、来年度の新商品についての概要説明がありました。

今まで並列型が主流だったUスタイルはさらにパワーアップ、L字に駐車できるタイプのものを発表。

マイパティオは、縦格子タイプを追加。

カジュアル住宅に向けて発売した「ラフル」に続き、ナチュラル素材のベーシックな住宅向けに、「マイリッシュ」という扉や機能門柱の新シリーズを提案。



三協アルミの来期新製品の概要説明。いち早くホットな情報と熱気のこもった雰囲気でした。

経営学の専門家による講演会

続いて講演会です。今回は高崎経済大学大学院・経済経営研究科教授の茂木一之教授が「転換期における経営者の役割」について講話されました。「つくれば売れる」「会社はつぶれない」「業界の順位は変えられない」といった甘い認識で組織が硬直するなか、経営者はどうあるべきか。自らを変え、組織を変え、社会を変えていく姿勢が必要である……という示唆に富んだ内容でした。とくに、「なぜ人がついていくか。なにが人を惹きつけるか」というテーマで、6人の戦国武将を例にとった“人を惹きつける力”のエピソードが面白く、参加された皆様もうなずきながら聴き入っていました。



厳しい社会情勢を生き抜く経営者として学ぶところの多い講演に、皆様の目つきも真剣そのもの。

茂木一之教授

懇親会で楽しく情報交換

午後6時からは懇親会。先ほどまでの真剣な雰囲気とは違って、和気あいあいとした歓談が行われました。

群馬御庭会は、2か月に一度コンスタントに研修会や講演会などの会合を開いています。出席率も高く、会合を通じて親睦を深め、情報交換をしたり仕事上で協力し合うなど、お互いの関係も非常に良好だとのこと。さらに若手会員の皆様が結成した「御庭番オペレータークラブ」(通称ジュニア会)も、積極的に勉強会などを続けています。

「来期も面白い講演をして頂こうと、いまからいろいろ人選を考えています。京都のような古都の庭の見学会もできたらいいなと考えているところです」と大島会長。これからも群馬御庭会の活動から目が離せません。



EX.VIEWの12号(2001年)の座談会でご紹介した若手グループ「御庭番オペレータークラブ」の皆様は、いまも仕事で協力しあったり、飲み会を開くなど公私ともに良い付き合いが続いているそうです。

スーパー御庭番 VER 6.5 リリース!

2004年12月にスーパー御庭番の新バージョンVER 6.5をリリースしました。VER 6.5では、新プレゼンテーション機能の追加、植栽図鑑CD-ROMの提供など、提案力の向上を目的とした機能アップを行っています。

パソコン上で施主様にプランの提案ができる新プレゼンテーション機能を追加!



VER 6.5では、パソコンを使って施主様にプレゼンテーションができる「Exterior Gallery」を追加しました。この機能では、物件の完成イメージや変更イメージ、プラン使用商品の画像やこれまで手がけた施工物件を紹介できます。



カーポート「G-1」など、秋の新商品を追加。

ライブラリー、カラー素材を多数追加。



モノクロの図面も効果的です。色がないほうがイメージが固定しない良さもあるので



群馬県前橋市 株式会社 名正様 営業部 矢端真太郎様

御庭番を使い始めて5年目です。もともと大学では建築を専攻していましたし、その後ハウスメーカーに勤めていたときは建物関係のCADを触っていらしたので、御庭番にもすぐに慣れました。御庭番の魅力は、無限の可能性があるということ。建物以外は何でも描けるのがうれしいですね。それに私は凝り性なので、御庭番に入っていない部材は自分でつくってしまうこともあります。たとえば、当社では一般住宅の外構だけでなく公共事業も扱っているため、その図面も御庭番で描いているんですが、本来入っていないガードレールなどもつくって描き込んでいます(笑)。でも、実は私の使っている御庭番はモノクロだけのものなんです。カラーを導入しないかと何度も言われているんですが、モノクロの良さもあると思っているので……。なまじ色がないほうがイメージが固定せず、色合いの違いで問題になることもありません。モノクロの絵に色鉛筆で彩色したりすると、これもまた雰囲気が出てなかなかいいんです。お客様へのプレゼンテーションというのは、あまりハッキリと見せてしまうと、もっともっととキリなくなるので、想像の余地を残しておいたほうがスムーズに話が進む場合もあるんです。

現在は、多いときは1週間に図面だけで2~3件こなしています。お客様の要求を反映したうえで、施工のしやすさなども考えながらプランするので時間がかかりますが、御庭番だと早くスムーズに描けるので助かっています。また、複雑な面積や長さ、そこに使うレンガなどの数量も御庭番だとすぐに使えますから、見積もりがつくりやすいのもありがたいですね。休みの日は、3才と1才の娘たちと公園で遊ぶのが一番リラックスできます。お寝み前にブチュッと挨拶したり…本当に可愛くて、一緒にいると疲れが癒されますね。